

# 結果の概要

## I 全国人口

### 1 人口の動向

#### 総人口は21万5千人の減少、日本人人口は減少幅が拡大

平成26年10月1日現在の我が国の総人口は1億2708万3千人で、25年10月から26年9月までの1年間に21万5千人(0.17%)減少となった。人口増減は、これまで増加幅が縮小傾向で推移し、平成17年に戦後初めて前年を下回った後、増減を繰り返し、26年は21万5千人の減少と前年に比べ減少幅は縮小したものの、4年連続で大きく減少した。

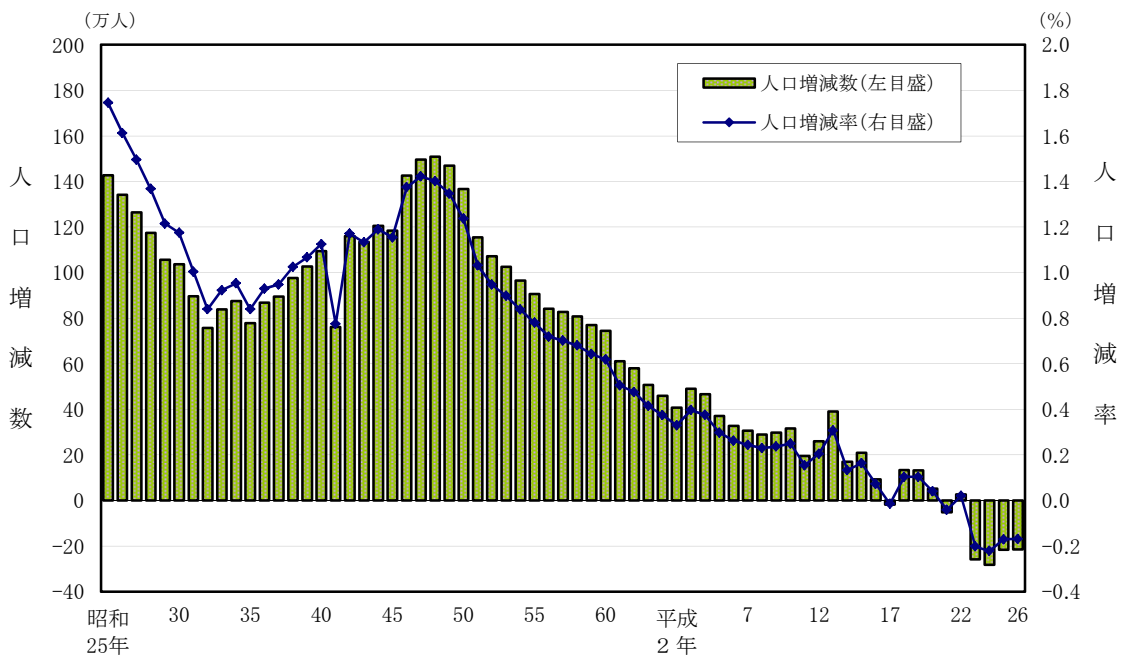
日本人人口は1億2543万1千人で、前年に比べ27万3千人(0.22%)減少となり、減少幅が拡大した。(表1、図1、表2)

表1 総人口及び日本人人口の推移(平成21年～26年)

年次	総人口			日本人人口		
	10月1日現在人口(千人)	増減数 <sup>1)</sup> (千人)	増減率 <sup>2)</sup> (%)	10月1日現在人口(千人)	増減数 <sup>1)</sup> (千人)	増減率 <sup>2)</sup> (%)
平成21年	128,032	-52	-0.04	126,343	4	0.00
22	128,057 <sup>3)</sup>	26	0.02	126,382 <sup>3)</sup>	38	0.03
23	127,799	-259	-0.20	126,180	-202	-0.16
24	127,515	-284	-0.22	125,957	-223	-0.18
25	127,298	-217	-0.17	125,704	-253	-0.20
26	127,083	-215	-0.17	125,431	-273	-0.22

- 注1) 平成22年までの増減数には補間補正数(平成17年国勢調査人口を基に算出した人口推計と、22年国勢調査人口との差を各年に均等配分して算出したもの)を含む。  
 2) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口(期間初めの人口=期首人口)で除したのもの。  
 3) 国勢調査人口。日本人人口は、総人口に対する日本人人口の割合であん分した国籍不詳を含む。

図1 総人口の人口増減数及び人口増減率の推移(昭和25年～平成26年)



注) 人口増減率は、前年10月から当年9月までの人口増減数を前年人口(期首人口)で除したのもの。

表2 総人口の推移（平成2年～26年）

（単位 千人）

年次	10月1日 現在人口	人口増減（前年10月～当年9月）									
		純増減 <sup>1)</sup>		自然動態 <sup>2)</sup>			社会動態 <sup>3)</sup>				
		増減数	増減率(%) <sup>4)</sup>	出生児数	死亡者数	自然増減	入国者数	出国者数	社会増減	日本人	外国人
平成2年	123,611 <sup>5)</sup>	406	0.33	1,241	824	417	11,303	11,301	2	-30	32
3	124,101	490	0.40	1,224	829	394	11,168	11,130	38	-19	57
4	124,567	466	0.38	1,228	854	374	12,720	12,685	34	-7	41
5	124,938	370	0.30	1,205	882	322	12,398	12,408	-10	-17	8
6	125,265	327	0.26	1,229	877	351	13,982	14,064	-82	-76	-6
7	125,570 <sup>5)</sup>	305	0.24	1,222	925	297	15,653	15,703	-50	-50	0
8	125,859	289	0.23	1,203	896	307	17,375	17,388	-13	-35	23
9	126,157	297	0.24	1,209	921	288	17,974	17,960	14	-42	56
10	126,472	315	0.25	1,215	933	282	17,028	16,990	38	-2	40
11	126,667	195	0.15	1,198	985	212	17,237	17,249	-12	-43	30
12	126,926 <sup>5)</sup>	259	0.20	1,194	968	226	18,462	18,424	38	-50	88
13	127,316	390	0.31	1,185	966	219	19,266	19,120	146	66	79
14	127,486	170	0.13	1,176	981	195	16,321	16,372	-51	-104	53
15	127,694	208	0.16	1,138	1,023	115	15,038	14,970	68	3	65
16	127,787	93	0.07	1,126	1,024	103	17,673	17,709	-35	-77	42
17	127,768 <sup>5)</sup>	-19	-0.01	1,087	1,078	9	18,951	19,004	-53	-103	50
18	127,901	133	0.10	1,091	1,090	1	2,836	2,835	1	-60	61
19	128,033	132	0.10	1,102	1,104	-2	2,882	2,879	4	-75	79
20	128,084	51	0.04	1,108	1,142	-35	2,864	2,908	-45	-110	65
21	128,032	-52	-0.04	1,087	1,146	-59	3,114	3,237	-124	-77	-47
22	128,057 <sup>5)</sup>	26	0.02	1,083	1,188	-105	2,840	2,840	0	4	-4
23	127,799	-259	-0.20	1,073	1,253	-180	2,686	2,765	-79	-28	-51
24	127,515	-284	-0.22	1,047	1,251	-205	2,757	2,836	-79	-23	-56
25	127,298	-217	-0.17	1,045	1,277	-232	2,796	2,782	14	-23	37
26	127,083	-215	-0.17	1,023	1,274	-251	2,911	2,874	36	-23	60

注1) 平成22年までの純増減には補間補正数を含む。このため、純増減は自然増減と社会増減の計とは一致しない。

2) 「人口動態統計」（厚生労働省）による。

3) 「出入国管理統計」（法務省）による。平成17年までの日本人については、海外滞在90日以内の入国者数、出国者数を含めている。

4) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口（期首人口）で除したものの。

5) 国勢調査人口。

**男性は7年連続、女性は4年連続の減少**

総人口を男女別にみると、男性は6180万1千人（総人口に占める割合48.6%）で、前年に比べ10万9千人（0.18%）減少と7年連続で減少、女性は6528万2千人（同51.4%）で10万6千人（0.16%）減少と4年連続の減少となった。

人口性比（女性100人に対する男性の数）は94.7となっており、女性が男性より348万2千人多くなっている。

（表3）

表3 男女別総人口の推移（平成12年～26年）

（単位 千人）

年次	男						女						人口性比
	10月1日 現在人口	純増減 <sup>1)</sup>		自然 増減	社会 増減	補間 <sup>3)</sup> 補正数	10月1日 現在人口	純増減 <sup>1)</sup>		自然 増減	社会 増減	補間 <sup>3)</sup> 補正数	
		増減数	増減率(%) <sup>2)</sup>					増減数	増減率(%) <sup>2)</sup>				
平成12年	62,111 <sup>4)</sup>	94	0.15	85	-2	11	64,815 <sup>4)</sup>	165	0.26	141	40	-16	95.8
13	62,265	155	0.25	81	52	21	65,051	236	0.36	138	94	4	95.7
14	62,295	30	0.05	69	-60	21	65,190	140	0.21	126	10	4	95.6
15	62,368	73	0.12	28	23	21	65,326	136	0.21	87	45	4	95.5
16	62,380	12	0.02	22	-31	21	65,407	80	0.12	81	-5	4	95.4
17	62,349 <sup>4)</sup>	-31	-0.05	-25	-28	21	65,419 <sup>4)</sup>	12	0.02	34	-25	4	95.3
18	62,387	38	0.06	-26	7	57	65,514	95	0.14	27	-6	73	95.2
19	62,424	37	0.06	-25	6	57	65,608	95	0.14	23	-2	73	95.1
20	62,422	-2	-0.00	-41	-18	57	65,662	53	0.08	6	-27	73	95.1
21	62,358	-64	-0.10	-55	-67	57	65,674	12	0.02	-5	-57	73	95.0
22	62,328 <sup>4)</sup>	-30	-0.05	-74	-13	57	65,730 <sup>4)</sup>	56	0.09	-31	13	73	94.8
23	62,184	-144	-0.23	-107	-37	-	65,615	-115	-0.17	-73	-42	-	94.8
24	62,029	-154	-0.25	-118	-37	-	65,486	-129	-0.20	-87	-42	-	94.7
25	61,909	-120	-0.19	-129	9	-	65,388	-97	-0.15	-103	5	-	94.7
26	61,801	-109	-0.18	-136	27	-	65,282	-106	-0.16	-115	9	-	94.7

注1) 前年10月から当年9月までの増減数。

2) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口（期首人口）で除したものの。

3) 国勢調査人口を基に算出した人口推計と、その次の国勢調査人口との差を各年に均等配分して算出したものの。

4) 国勢調査人口。

## 8年連続の自然減少，減少幅は拡大

自然増減（出生児数－死亡者数）をみると，出生児数は，第2次ベビーブーム期（昭和46年～49年）以降は減少傾向が続いており，平成26年は102万3千人で前年に比べ2万2千人の減少となった。一方，死亡者数は，127万4千人で前年に比べ3千人の減少となった。

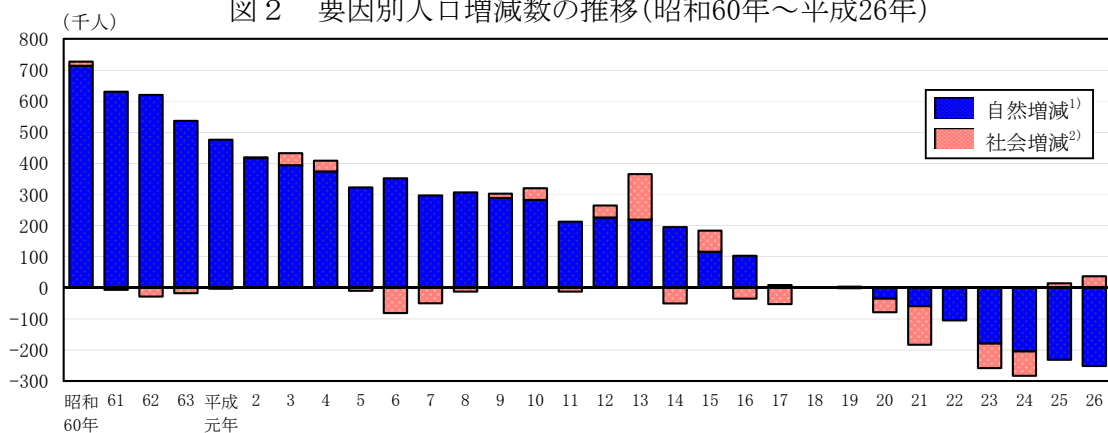
この結果，出生児数が死亡者数を25万1千人下回って，8年連続の自然減少となり，減少幅は拡大している。男女別にみると，男性は10年連続，女性は6年連続の自然減少となった。（表2，表3，図2，図3）

## 日本人は4年連続の社会減少，外国人は2年連続の社会増加

社会増減（入国者数－出国者数）をみると，入国者数は291万1千人で前年に比べ11万4千人の増加，出国者数は287万4千人で前年に比べ9万2千人の増加となった。この結果，入国者数が出国者数を3万6千人上回り，2年連続の社会増加となった。男女別にみると，男性・女性共に2年連続の社会増加となっている。

これを日本人・外国人の別にみると，日本人は2万3千人の社会減少，外国人は6万人の社会増加となった。日本人は4年連続の社会減少，外国人は2年連続の社会増加となり，外国人の増加幅は前年に比べて拡大した。（表2，表3，図2）

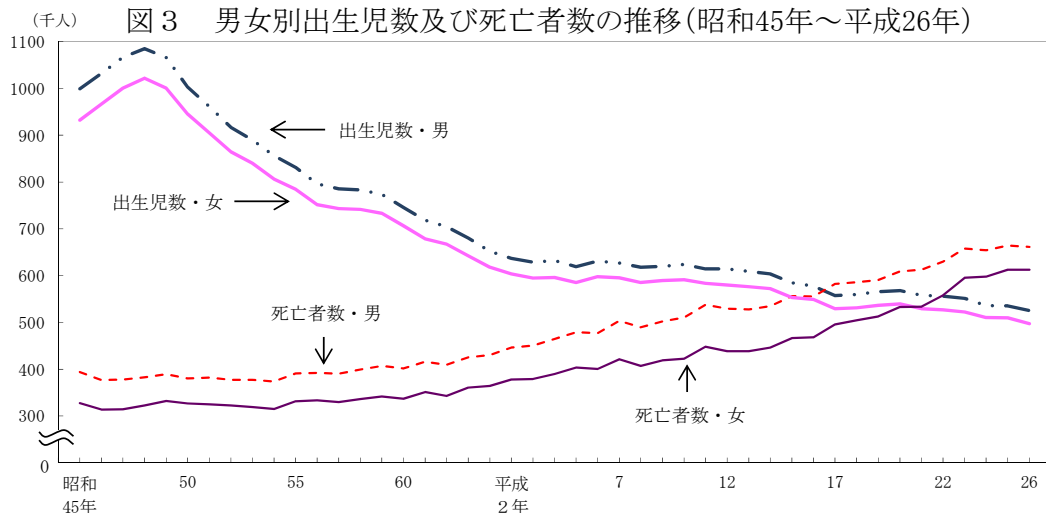
図2 要因別人口増減数の推移(昭和60年～平成26年)



注1) 「人口動態統計」(厚生労働省)による。

2) 「出入国管理統計」(法務省)による。平成17年までの日本人については，海外滞在90日以内の入国者数，出国者数を含めている。

図3 男女別出生児数及び死亡者数の推移(昭和45年～平成26年)



注) ・「人口動態統計」(厚生労働省)による。

・昭和45年，46年は沖縄県を含まない。